

第29回

高知県文化環境功労者表彰

事 績 概 要

高 知 県

<文化の振興>

(高知市)

あかおか しゅうじ
赤岡 修次 氏

(主な略歴)

- | | |
|----------|---|
| 平成 6 年～ | 高知競馬場にて騎手デビュー |
| 平成 19 年～ | 高知市立高知特別支援学校の生徒と家族を
特定非営利活動法人高知市こども劇場の年末公演に
招待する活動を開始 |
| 平成 26 年～ | 高知県立障害者スポーツセンター利用の家族を
招待先に追加 |
| 令和 5 年～ | 活動 17 年目にして招待者数が延べ 1,000 人を超える |

(功 績)

平成 19 年より、特定非営利活動法人高知市こども劇場の年末舞台鑑賞公演に高知市立高知特別支援学校の生徒と家族などを招待する活動に取り組み、これまでの招待者は延べ 1,000 人を超えている。

長年にわたり障害のある子ども達とその家族へ芸術文化に触れることができる機会の創出を行っており、高知県における文化の振興に貢献している。

<男女共同参画>

(高知市)

こうちけんじょせいしえんすいしんきょうぎかい
高知県女性支援推進協議会

(主な略歴)

昭和 32 年～	高知県売春対策協力会発足
昭和 34 年～	高知県婦人保護対策推進会に改名
昭和 47 年～	高知県婦人保護対策協議会に改名
平成 6 年～	高知県女性保護対策協議会に改名
令和 6 年～	高知県女性支援推進協議会に改名

(功 績)

団体発足以来、困難な状況にある女性への支援についての啓発や援護のための事業に取り組み、近年ではDV防止に関する啓発事業や、DV被害者等への援護事業を継続的に行っている。

特に援護事業では、高知県女性相談支援センターと緊密に連携して、一時保護所や女性自立支援施設を退所し、自立を目指す女性に対する支援金の贈呈や、生活用品の一部支給、生活資金の貸付けなど、行政のみでは対応が行き届きにくい「支援対象者の個別ニーズに合わせた柔軟で迅速な支援」を実施しており、県民生活の向上に貢献している。

<文化財の保護>

(安芸市)

こうかみ やすし
鴻上 泰 氏

(主な略歴)

昭和 51 年～平成 18 年 高知県庁職員
平成 19 年～平成 29 年 高知大学理学部非常勤講師
平成 20 年～ 高知県文化財保護審議会委員

(功 績)

高知県庁在職中より長年にわたり天然記念物（植物）を中心とした研究や保存活動に打ち込み、深い知識を広く普及することに努めた。

また、高知県文化財保護審議会委員としての活動を通じ、国及び県指定の天然記念物の保存・活用の取り組みに貢献している。

<環境の保全>

(長岡郡大豊町)

つづき かつひさ 氏 つづき まさこ 氏
都築 一久 氏 都築 将子 氏

(主な略歴)

平成 23 年～ 「ギャラリー夢来里」オーナー
令和 4 年～ 特定非営利活動法人 夢来里の風 理事長、副理事長

(功 績)

過疎化が進む集落において、約 18,000 平方メートルもの耕作放棄地を開墾・整備し、現在では多くの生物が生息・生育する自然豊かな里山となっている。

令和 4 年 1 月には特定非営利活動法人を設立し、里山の維持・管理体制を整備するとともに、子どもたちを対象として、植物や昆虫の観察などの自然に親しむイベントを開催するなど、多様な生物が生息する里山の環境や文化を次世代に継承しており、高知県の自然共生社会づくりや環境の保全に貢献している。